

大阪城・大阪府庁視察＋意見交換ツアー

2019年1月21日



視察工程

■ 平成31年1月21日(月) 視察行程

時刻	内容
14:00	大阪府庁 発 (徒歩移動 20分間)
14:20	① 大阪城公園パークセンター 集合 ・会議室にて 事業概要説明・質疑応答(30分間) ・森ノ宮エリアを見学しながら「ジョーテラスオオサカ」へ徒歩移動(15分間) ・「ジョーテラスオオサカ」見学(10分間)
15:20	② 「ジョーテラスオオサカ」 発 ・ロートレインに乗車(20分間・300円)※満席時は徒歩での移動になります。 ・車窓から公園各所を見学
15:40	③ 豊国神社前(本丸近く) 着 ・本丸地区内見学 「ミライザオオサカジョー」・天守閣前等で写真(10分間)
15:50	④ 本丸 発 (徒歩移動 10分間)
16:00	⑤ 府庁 着

1. スケジュール

時間	内容	備考
13:45	荷物預かり（府庁本館4F会議室）	※貴重品はお預かりできません。 各自で管理してください。
14:00	大阪城パークマネジメント視察	
見学	16:00 集合（府庁本館 正面玄関） ↓ 見学：記者会見室（府庁本館4F） 正庁の間（府庁本館5F）	
	16:20 見学：議場（府庁本館2F）	・見学は、議場内の「府政記者席」からとなります。 議席には立ち入らないようお願いいたします。 ・写真撮影は禁止されておりますが、SNS等への掲載はご遠慮ください。
	16:30 荷物を持って、大阪府公館へ移動	
意見交換会	16:45 テーマに関する説明（約60分） 質疑応答、感想など（約15分）	・関西広域連合の紹介映像（約15分）含む
	18:00 終了	

2. 意見交換会の概要

○テーマ：地方分権と関西広域連合の取組みについて

- (1) なぜ地方分権が必要なのか
- (2) 大阪府の地方分権改革の取組み
- (3) 関西広域連合の取組み

【大阪城 PMO】に参加して感じたこと、パークマネジメントのあり方についての意見

1. 中学の修学旅行で大阪城を訪れて以来、はじめての訪問になったが、大学で大阪にきてから一度も訪れなかった理由として、当時の大阪城は天守閣以外に見所がなく、一度いけたら十分というイメージがあったからであった。しかし今回の視察で、周辺施設の魅力も向上しており、大阪城に対するイメージが変化した。そのため、今回の視察はとても有意義なものであった。私のように以前の大阪城のイメージのままにいる人にとっては、大阪城を再び訪れるということはあまりないと思うので、これからのPRでいかにそのイメージを覆せるかが、特に日本人観光客にとってはかぎになるのではないかと感じた。
2. やや集合場所が難しく、事前の確認不足でしたが、丁寧に説明していただいた上で実際に視察できたのでとても有意義でした。大阪城が民間のパワーを巻き込んでぐんぐん変わっているところを目の当たりにし、驚きもたくさんありました。緑地のあるおしゃれな空間は印象的です。
3. 大阪城公園には毎年よさこいのお祭りで行くことがあり、ここ数年の大きな変化を感じ取っていたが、やはりこのような事業が絡んでいたんだなということを実感することができた。数年前までの大阪城公園は城郭の規模にしては殺風景だと感じていたのでこのような試みに私は賛成である。
4. 大阪の観光名所として、観光産業の基軸として、民間をうまく活用して成功しており、今後ますます来訪客も増えていくことが期待されます。この事例をほかの文化遺産や観光地に適用することができたら、日本の観光産業も発展していくのではないかと思います。
5. 入学式で大阪城に行ったときから雰囲気が変わっていて驚いた。その背景に大阪市のプロジェクトがあることがわかり、大阪市が観光活性にどのように力を入れているのか理解することができた。
6. 大阪城公園がこれほど複合型エンターテインメント施設のようになっているとは知らなかったもので、驚きました。民間に委託して観光客の誘致に取り組むことは、公園の維持に効果的だと思います。
7. 民間委託によって、新たな挑戦が多数行われており、どの企画も興味深かった。今後外国人観光客が増えていく中で、夜のアトラクションも増え、朝から晩まで魅力的な観光地になっていくと感じた。個人的には、大阪城ホール前の様変わり用に驚いた。
8. 大阪城公園には行ったことがなく、今回の視察で初めて行きましたが、イメージと違ってとてもエンターテインメント要素に溢れた素敵な公園でした。一つ一つの施設を PFI 事業として行うのではなく、PMO 事業という形で公園を一体的に開発していくことで、一貫性をもったいわば「街づくり」が行われており、統一性をもった新しい公園の形として先進事例となっていることを実感しました。
9. 大阪城に長い間行っていなかったもので、依然との変わりように驚いた。とくに大阪に外国人観光客が多く来ている中なので、城周辺をまとめて一つのテーマパークのように扱うことで

集客できているのだと感じた。ある意味、姫路城にはできないことなので、積極的に改革を進めてほしいと思う。

10. まず、小さい頃に自分自身もよく来ていた大阪城公園が、現在こんなにも進化を遂げていることにとっても驚いた。同時に、民間事業者の利点を活かしたサービス向上は、これからの公共事業運営に必要不可欠かもしれないと感じた。ただ、市の職員の方は「『PMO 事業』導入以降入場者数の最高記録を 3 年連続で更新した」と仰っていたが、これだけでは PMO 事業による効果(因果関係)が分からないと思う。入場者や公園利用者に対する満足度をもう少し手厚く調査し、ニーズにより合った魅力向上を図ってほしいと思う。
11. 授業のため不参加でした
12. 不参加

「大阪府庁視察」(正庁の間、議場)の感想

1. 滅多に見ることのできない正庁の間や議場をみることができよかつた。普段はなんとなく遠い存在に思える府政を身近に感じることができて一有権者としてとても有意義であつた。
2. 一般の方が普段立ち入れないところも特別に見せていただき、とても勉強になりました。正庁の間では、詳しい説明をしてくださったり、パンフレットも配っていただいたりとてもわかりやすかつたです。歴代の関係者の方の写真の中に田中義一議員など歴史の教科書で学んだ政治家を発見したり、展示してあるものから、歴史の長さを感じました。
3. 普段立ち入れないような正庁の間や議場に入ることができてとても貴重な経験を味わうことができた。議場は私が想定していたものより小さく、国会と比べてもだいぶ小さいのだなという印象を受けた。正庁の間ではガラス越しの大阪城が大きくなつたり小さくなつたりする目の錯覚が面白かつた。
4. 議場に入ったとき、普段は議員さんたちが大阪の未来を想つて政策などを考え、議論している場だと思うと、心なしか緊張しました。
5. 記者会見室や正庁の間など、滅多に入ることのできない場所を視察することができ、貴重な機会となつた。特に正庁の間や議場では、府庁舎の歴史を感じることもできた。
6. 普段は入れないところに入ることができて、貴重な体験でした。
7. 普段見ることができない議場や正庁の間を、解説を聞きながら見学することができ、貴重な経験であつた。
8. 大阪府庁には何度も伺つていましたが、今回初めて中をじっくり見て回ることができました。正庁の間は、窓から見える大阪城の大きさが変わることで非常に盛り上がり、とても楽しかつたです。また、議場についても直接見るのは初めてでした。議場横の控え室では、戦後の偉大な政治家の写真も多く掲げられていて、感慨深いものがありました。
9. 大阪府庁の議場があれほど歴史的なものだとは思つていなかった。歴史のある空間なので、しっかり保全して、これからも長く使つてほしいと思う。
10. 非常に面白かつた。現存している都道府県庁舎の中で最も古いのが大阪府庁であると知り、

歴史的にも貴重な建物であることを知った。その中でも特に、入口すぐの大階段と「正庁の間」ではその歴史的貴重性を強く感じ、興味深かった。また、テレビ等でよく見る議場や記者会見室の中に自分がいると考えると、とてもわくわくした。

11. 普段一般人の身分では入れないような場所に入ることができ、非常にいい経験になりました。また歴史ある大阪府庁の重みに触れることができ、この街に住んでいることにさらに誇りが持てました。"
12. 普段見ることができない部分を視察することができたので、面白かった。もっと他の部分も見たいと思った。

「大阪府庁での意見交換」に参加しての感想、「地方分権(国と地方の役割分担)・広域連合のあり方についての意見

1. 関西広域連合は地方分権を推進する上で、全国に先駆けた、画期的なシステムであると感じたが、その運用面ではまだまだ大きな課題があると感じた。特に災害時などの緊急時に、本来横並びである各都道府県のなかで、強いリーダーシップをある都道府県が発揮することができるのか疑問に感じた。普段のPRなどでは感じる事のない関西広域連合の内情について、深く知ることができてよかった。
2. 品格高いお部屋でお話を伺い、緊張しました。質問にもご丁寧に答えていただき嬉しかったです。広域連合はとてもいいシステムのように感じもっと知りたいと思いました。各地で同時多発的に起こればすごくスムーズなのではないかと思います。
3. 地方分権改革は地方に住む私にとっては興味をそそられる内容であり、テイスカッションを非常に楽しみにしていた。しかし大阪府の担当者の方の話を聞いて抱いた印象は、地方分権改革がもたらす帰結を本当に認識しているのかという疑念だった。1市町村が中核市になったり、特別区を置くことにはそれなりの法的手続きが必要であり、また各行政区分にも一長一短あるということを最近の授業で教わったこともあって、それらを包括的に考えると、議論はもう少し慎重にならざるをえないのかなと感じた。個人としては地方分権改革には賛成であるが、道州制には反対である。理由は今後の日本はいずれにせよ地方が自立して存在する必要があると思うからであり、道州制についてはいまいちそのメリットを感じられないからだ。
4. 地方分権を目指しつつ、その一方で自治体を広域化することは、逆行しているように感じていましたが、説明や質疑応答を経て整理がつくようになりました。最適が何かというのは非常に難しい議論だと思いますが、いろいろな場面・分野で問題になることだと思うので、今回の意見交換会を踏まえて考えてきたいと思います。
5. 地方分権のお話は少し難しかったが、歴史や経緯から丁寧に説明して下さり、理解を深めることができたと感じる。また、広域連合には馴染みがなく良く知らなかったが、今回の説明を受けて概要を理解することができた。広域連合によってドクターヘリなど利便性が向上した部分がある一方で、同じ目標に向かって動いているわけではないという部分もあると知り、

課題が多い組織なのだろうと感じた。

6. 地方分権や、広域連合についての大阪府の立場や意見を聞くことができよかったです。都道府県単位ではなく、地域として成長・発展していこうとする考え方はとても良いと思うので、より意見交換や提言等を活発に行って、国からもう少し権限を移譲してもらえるような具体的取組を掲げて行ってほしいと思いました。
7. 大阪府の地方分権に向けた姿勢を学ぶことができ、勉強になった。関西広域連合に関して、府庁の人が考えているよりも府民への認知度は低いように感じた。多数の府県が集まり活動を行うことはいい活動だと思うが、参加府県の範囲や全体の方向性など曖昧な所も多いと感じた。
8. 関西広域連合については、その存在は知っていたものの具体的な活動などは何も知りませんでした。確かに、広域的に様々な面で連携していくことは、人口減少や税収減少で行政サービスの縮小を余儀無くされる中、住民の生活を支えていく上で必要不可欠なことかと思いました。しかし、意見交換の中でも出ていたように、その「うまみ」が何かを明示できていない状態で、国へ権限移譲の働きかけをするのはとても難しいことだと思います。事業スキームを詳細に考え、具体的に一つの事業として動けるくらいまで一つ一つの取り組みを深化させ、その実績を積み重ねていくことが重要であると考えます。
9. 地方分権を進めることの必要性がよく分かった。一方で、大阪府内の中でも、将来的にどの程度役割分担をしていくのかというところが明確になっていないことも分かった。個人的には、田舎のどうしようもない地方に大きな権限を与えるのは、あまり効率的でないと思うので、それぞれの地方で柔軟に権限の大きさを調整できるようにすることができればいいのではないかと思う。
10. 今回の視察を通して、この「大阪府庁での意見交換会」が最も面白かった。特に、報道等で目にする「表向き」の意見ではなく、実際の現場での意見や感覚をたくさん聞いた点がとても面白かった。特に印象に残っているのは、大阪府の方が「地方分権を押し出しているものの、そのために必要な『国レベルでの枠組みの変革』に向けた国の出先機関等へのアプローチをあまり行っていない」と仰っていたことである。私自身も、大阪府の方も仰っていたようにもっと地方分権が進んでほしいと思っているので、これからはもっと国への働きかけを強めて、根本的な地方分権を推し進めてほしいと思った。
11. 自分の地元で活動している関西広域連合について何も知らなかったのを直に説明してもらえて非常に勉強になりました。また、一極集中の改善と新しい地方自治のあり方について興味湧き、今年の論文のテーマの参考にしたいと思いました。
12. 意見交換の内容をもう少し詳しく、事前に教えて頂きたかった。もしあれば、地方分権や広域連合関連の建物や部署の視察もしてみたい。